RACING OIL COOLER 3R

取付説明書

ZC33S

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

お願い！！
●この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
●本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車輌可能車輌と製品の仕様

□車　　名：SUZUKI　スイフトスポーツ
□型　　式：ZC33S
□エンジン：K14C
□年　　式：17/09-
□製品名称：BLITZ RACING OIL COOLER KIT RD
□製品番号：10478
□取説 No.：002
注）適合情報は変更される場合があります。詳しくは弊社 Web サイトをご覧下さい。

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話または FAX にて下記宛にお願いします。

■連絡先：（株）ブリッツ　　■TEL：0422-60-2277
■住　所：東京都西東京市新町 4-7-6　　■FAX：0422-60-0066

はじめに確認して下さい！

■この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店までご連絡下さい。作業前に、作業手順、必要部品を十分確認の上、不足部品等が無いよう準備を行ってから作業を開始して下さい。
■本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えたりしないよう、取り扱いには十分注意して下さい。装着不良でオイル漏れや故障の原因になる場合があります。

重要事項の確認

□本製品はノーマル車輌を基準に製作されています。純正品以外のパーツを装着されていたり、事故歴のある車輌の場合は本ＫＩＴの装着ができない場合があります。
□出力向上等に伴うエンジン本体及び駆動系部品の破損等に関しての保証は致しかねます。
□装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。
□作業はメーカーの発刊する整備手順要領書を基本におこなってください。
□装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
□表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
□エンジンオイル漏れは車両火災となる恐れがあり、大変危険です。走行前には必ず点検を行って下さい。
□オイルフィルターは再使用せず、新品を使用することをお勧めします。
□取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
□一般公道での走行は、道路運送車輌法を守って走行してください。

■パーツリスト■							
コア本体		オイルブロックASSY		センターボルト			
	1		1		1		
クーラーホースNo.1（L=570mm）				クーラーホースNo.2（L=950mm）			
	1				1		
ステーNo.1		ステーNo.2		ステーNo.3		ステーNo.4	
	1		1		1		1
フランジボルトM6×16	15	フランジナットM6	15	ワッシャーφ16	3	タイラップ	10
コルゲートチューブ（1m）	2						

エンジンオイル必要量（L）		
オイルフィルター交換時	本製品必要量	合計
3.3	約0.9	約4.2

□仕様

- BLITZ OIL COOLER KIT は、オイルブロックをオイルフィルターで挟んで固定するタイプのオイルクーラーです。オイルブロックにはサーモスタットを内蔵し、設定温度以上になるとコアへオイルを誘導します。設定温度以下になるとコアをバイパスさせエンジンへオイルを誘導します。周囲には PRESS 及び TEMP センサー取り付け用の穴が設けられています。
- 新開発のバンジョウタイプ自在ユニオンを採用し（一部車種）、ホースの取り出し向きの自由度が向上しています。
- 新開発のフィッティングを採用し、オイル漏れに対して大幅に信頼性を向上させています。
- ホースは車種に合わせ最適な長さにカットされ、フィッティングがセットされています。キット取り付け時にフィッティング組み付け等の面倒な作業はありません。

●サーモスタット作動温度：70℃～85℃±3℃

●センサー取り付け穴：

1/8PT（弊社 PRESS/TEMP センサーの取り付けが可能です。）

※車種により周囲のスペースが確保できない為、センサーの取り付けが出来ない場合もあります。

※バンジョウタイプ自在ユニオンのセンサー取り付け穴を使用してセンサーの装着が可能な場合があります。

※車種によりキットに付属されるユニオンの種類が異なります。

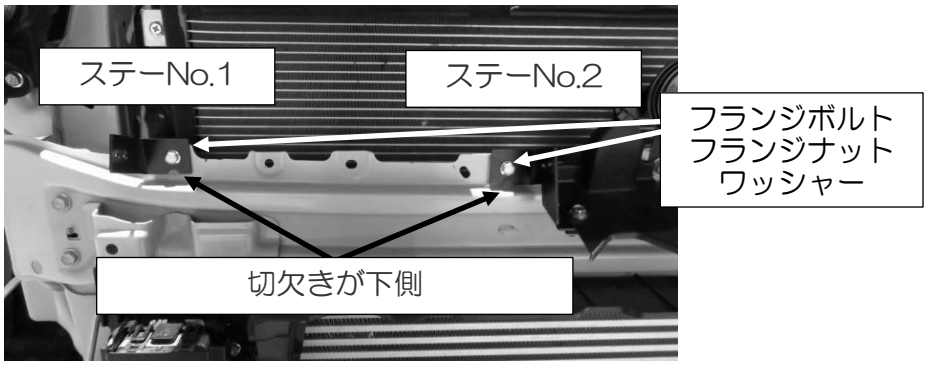
□組み付け作業手順

・作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
・純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
・異物の混入によるエンジン破損を防止する為に、作業中はコア、ホース、フィッティング、フィルター、オイルブロックには封をする等、異物が入らないよう注意して下さい。

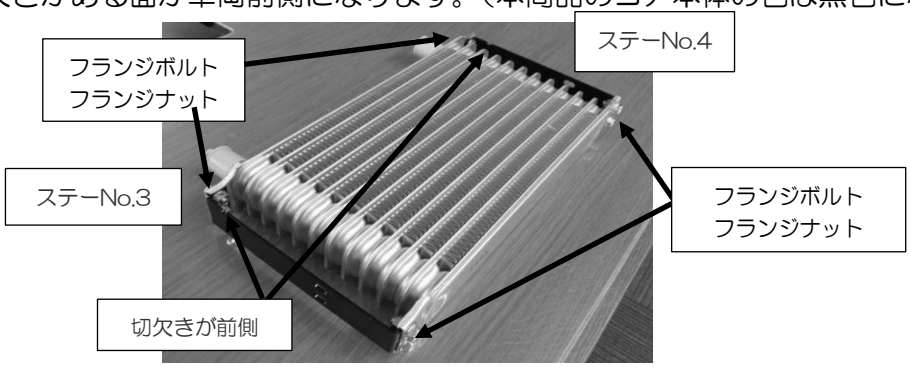
■作業を行う前にオイル、またはオイルフィルターの準備をお願い致します。
スイフトスポーツの場合オイルフィルター交換時の規定オイル量は 3.3L になります。
オイルクーラーコアとホース類を装着することで約 0.9L オイルを追加する必要があります。
※本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

① 自動車メーカー発行の作業手順書(修理書)に従ってバッテリーの（－）端子を取り外して下さい。
②フロントバンパーを取り外します。
③フロントエンドアッパカバーを取り外します。
④エンジンアンダーカバーを取り外します。
※フロントエンドアッパカバーにセンサーのコネクターが取り付けられている車両はコネクタを取り外して下さい。
※純正部品は、整備要領書等を参考に作業を行って下さい。
※必要に応じて取り外した部品にマーキングを行いながら作業を行って下さい。

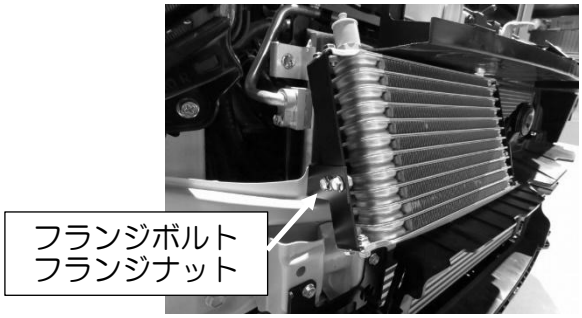
⑤写真を参考に、フロントバンパメンバにフランジボルト M6×１６　２個、フランジナット M6 ２個、φ16 ワッシャー　２個を使用してステーNo.1 とステーNo.2 を仮止めします。
ステーは切欠きがある面が下側になります。

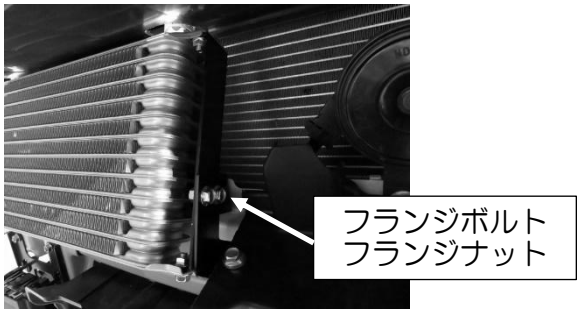


⑥写真を参考にオイルクーラーコアにフランジボルト M6×１６　８個、
フランジナット M6　８個を使用してステーNo.3 とステーNo4 を固定します。
ステーは切欠きがある面が車両前側になります。（本商品のコア本体の色は黒色になります）

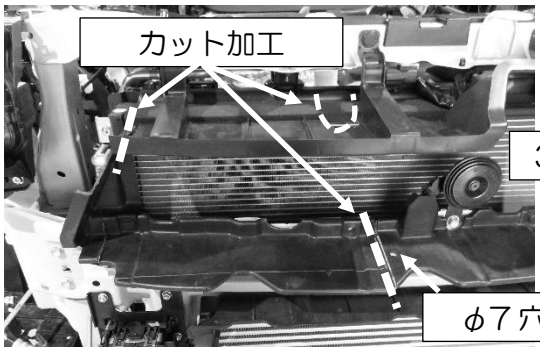


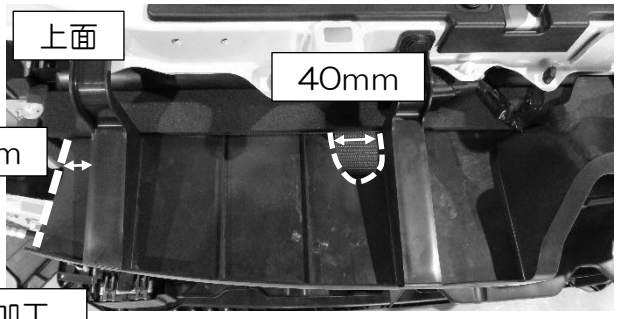
⑦オイルクーラーコアとステーNo.1、ステーNo.2 をフランジボルト M6×１６　４個、
フランジナット M6　４個を使用して仮止めしてください。エアコンコンデンサーとの干渉を防ぐため、オイルクーラーコアはできるだけ垂直になるように位置を決めしてください。

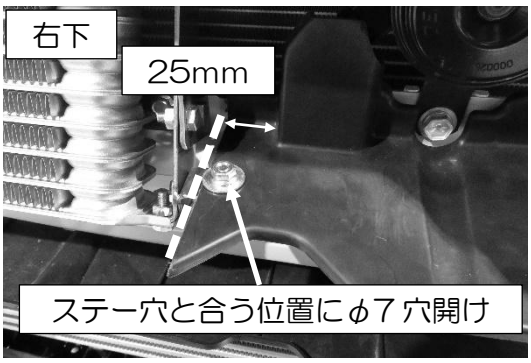




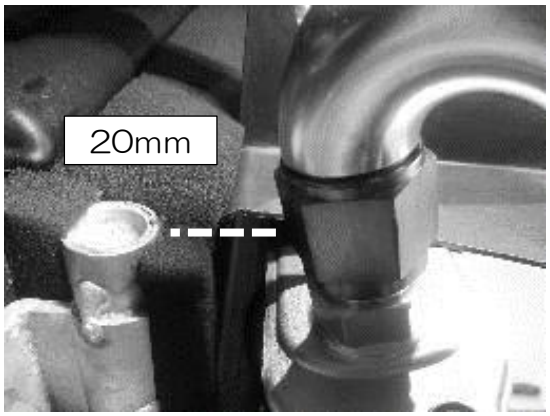
⑧写真を参考にフロントエンドアッパカバーを加工します。
カット位置は参考です。現物に合わせて調整してください。
加工後、コア右下部分のステーとフロントエンドアッパカバーをフランジボルト、ナット、ワッシャーで固定してください。



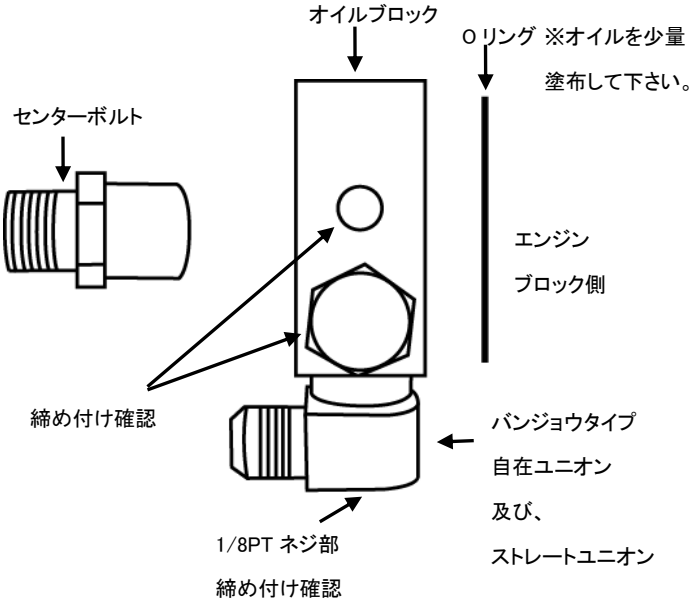




⑨コアを本締めする前に運転席側にクーラーホース No.1 の U 字型フィッティングを仮付けしてください。フィッティングとエアコンコンデンサーの干渉を防ぐために隙間が約 20mm 確保できるようにコアの位置を調整してください。干渉が起きないことを確認できましたら、コアを固定してください。
（本商品のホースはブラックナイロン製になります。フィッティングの色は赤、黒になります。）



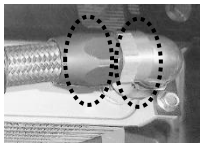
⑩エンジンオイルを抜き取り、オイルフィルターを取り外して下さい。
オイルブロックを付属のセンターボルトを使用して取り付けます。
※付属の O リングに少量のオイルを塗布して、オイルブロック溝部へ取り付けて下さい。
※取り付ける前にセンサープラグ及びサーモスタットが締まっているか確認して下さい。
　ネジ部は締めすぎに注意してください。
※センターボルトの締めすぎに注意して下さい。



オイルブロック角度参照画像
※画像ではフィティング、フィルターが付いていますが、ブロック単品で取り付けます。

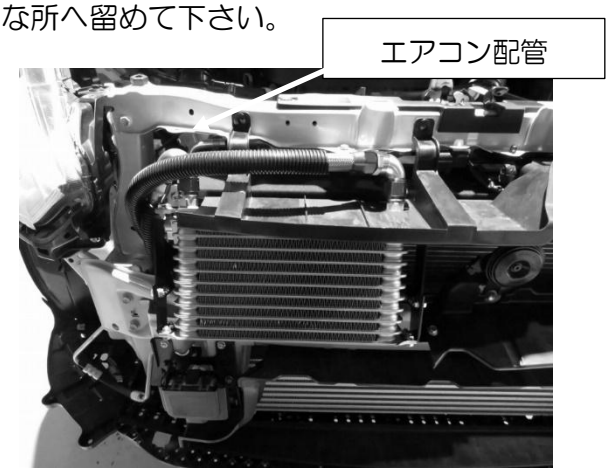
⑪稼動部分等に干渉が無いようフィッティングの位置を調整して、センターボルト、自在ユニオン、フィッティングを本締めします。ホースの取り回しは下記画像を参考にしてください。

※フィッティングをコアに取り付ける前に、ホースとフィッティングがしっかりカシメてあるか確認して下さい。



フィッティングの赤と黒の部分を締め付けて確認します
アルミ製ですので締め付けすぎの破損に注意して下さい

※コア本体及びオイルブロック部分のフィッティング周囲にあまりスペースがありません。
運転席側のフィッティングとエアコンコンデンサーは距離が特に近いため、干渉が起きないように必ず取り付けの再確認と調整をお願い致します。
車上にて締め付けが困難な場合は、一度仮付けを行いフィッティングの角度をマーキング、コア ASSY、オイルブロックを車両より取り外し、フィッティング類を締め付けてから再度車両へ取り付けて下さい。
※ホースとボディーなどが干渉する部分は付属のコルゲートチューブを巻いて下さい。
※エアコン配管と干渉する、もしくは近い場合はエアコン配管を少し曲げて逃がしてください。
干渉したまま使用すると、振動でエアコンパイプに穴が開く可能性があります。
※タイラップでホースをまとめて、周囲の適当な所へ留めて下さい。



⑫オイルフィルターを取り付けます。
⑬自動車メーカー発行の作業手順書(修理書)に従ってバッテリーの（－）端子を接続します。

⑭フロントバンパーを取り付ける前に、漏れ点検を行います。
エンジンオイルを入れた後、自動車メーカー発行の作業手順書(修理書)に従ってクランキングを行い、オイルをコアまで十分に循環させて下さい。クランキング前には下記項目を点検して下さい。

□エンジンオイルがレベルゲージ内にあるか。
□ホースがベルトやステアリング、駆動部品等
　の動く部品に干渉していないか。
□オイル漏れは無いか。
□各部に締め忘れは無いか。

⑮もう一度エンジンオイルがレベルゲージの範囲内に収まっているか確認後、エンジンを始動します。各部に漏れが無いか点検を行って下さい。

⑯エンジンの回転数を上げて、十分に油圧が掛かる状態で漏れが無いか確認を行って下さい。

⑰オイル漏れや、干渉が無く問題が無ければ、エンジンアンダーカバー、フロントバンパーを取り付けて下さい。
※本製品とフロントバンパーが干渉していないか確認して下さい。
　干渉している場合は干渉しないように製品の位置調整またはフロントバンパーを加工して取り付けて下さい。弊社キットの AERO SPEED R-Concept 等のフロントバンパーを取り付ける場合も同様です。

以上でキット取り付け作業は終了です。

□注意
□作業者の方へ、作業が終了しましたら、本取扱説明書は、必ずお客様に返却して下さい。
□走行前には必ずオイル漏れがないかを再度点検をして下さい。
□走行中に、異臭、異音、振動など異常があった場合は、安全な場所に車を止め、
　点検を行なって下さい。
□装着後も、定期的に緩みや干渉が無いか確認を行って下さい。

MEMO

BLITZ